



Rule Making Project

丹高ニュース

№15

令和6年2月5日(月)

～ 豊かな学びの実現 ～

ルールメイキングプロジェクト2023 ～“やってみたい”の創造へ～

西条高は2023年度、課題研究の一環でルールメイキングの活動を開始。22年度から実施している丹原高を見学するなどしている。1日、学年全員が7、8人の班に分かれ、変えたいと思う校則の規定などへの意見を出し合った。

自由な髪形や化粧の是非に加え、指定以外の靴

校則など身近なルールについて考え、議論することで思考力や発信力をつける「ルールメイキングプロジェクト」の取り組みが1日、西条市明屋敷の西条高校であった。2年生約270人に加え、先行的に活動している丹原高の生徒約10人も参加。両校生が交流し、校則の是非などを話し合った。

校則テーマ 対話力培う

西条高でプロジェクト

下を許容するかや校内でのスマートフォン使用を認めるかなどで意見が噴出。規制を緩めるよう求める意見が目立ったが「この程度まで緩めるか」に議論が及ぶと、なかなか意見がまとまらない班もあった。

活動の狙いは校則を変

えるための議論ではない。対話を通じ全員が納得できる意見をまとめる力を養うこと。桐山悠介さん(17)は「一人一人が意見を出し合い、それを聞く大切さを感じた」と話し、鳥取実結さん(17)も「いろんな人と対話する楽しさがあった。仲の良い友達以外とも議論する機会は大切だと思った」と振り返っていた。

(高橋圭太)

髪形 化粧 靴下 スマホ

みんなの意見集約へ汗



校則のあり方などについて意見を交わす西条高と丹原高の生徒

ルールメイキングプロジェクトの活動範囲を拡大。他校の生徒と対話を重ね、みんなの納得解を作るプロセスを学んでいます。